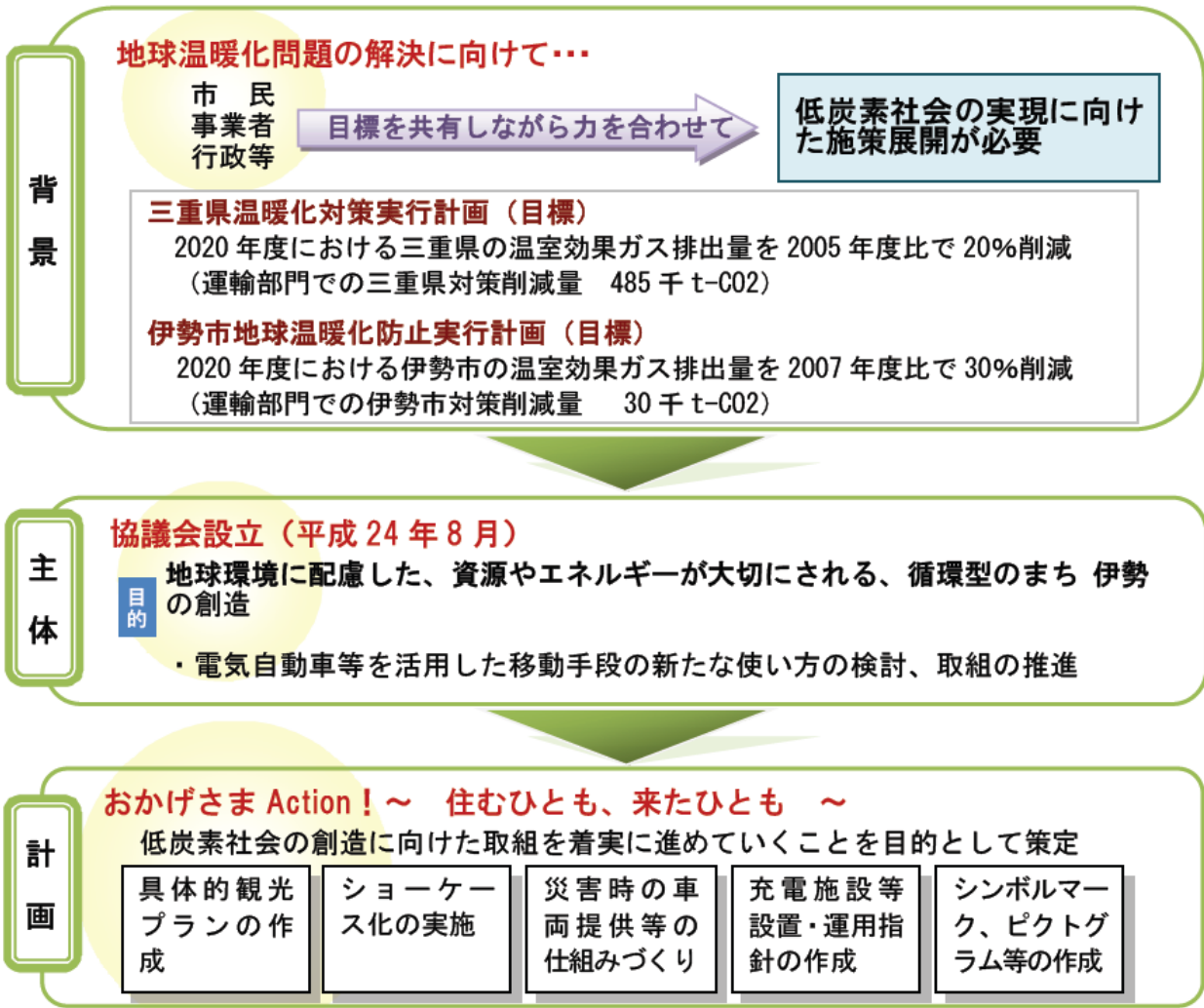


地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業について

■概 要

多くの化石燃料に依存した暮らしから、省エネルギーでかつ豊かな低炭素社会での暮らしに移行していくため、電気自動車等を活用した移動手段の新たな使い方を検討し、取組を進めることで「地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる、循環型のまち 伊勢」を創造することを目的として、平成 24 年 8 月に電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会が設立された。

また、協議会の理念の基に参画者の具体的な取組と役割を共有し、新たな豊かさを実感できる低炭素社会の創造に向けた取組を着実に進めていくことを目的として、行動計画「おかげさま Action! ～住むひと、来たひと～」を策定した。



地方公共団体の取組	H24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
協議会の設立	→										
具体的な取組の検討											
短期事業		実 施	→								
長期事業		実 施	→		継 続	→	→	→	→	→	→

■ 1 4年間のモデル事業の取組

(1) 協議会の行動計画「おかげさまAction! ～住むひとも、来たひとも～」の短期目標（平成28年3月まで）の達成状況は次のとおり。短期目標はほぼ達成した。

内 容	達成状況	概 要
電気自動車等を活用した観光プランの作成及び実施	○	E V等で周遊するドライブルートを設定し、観光マップを作成し観光協会等で配布した。また、E V等で周遊するエコスタンプラリーを実施した。
超小型モビリティを活用した観光の実施	○	超小型モビリティを活用したモニターツアーを実施し、エコスタンプラリーでは、一般への車両貸出を実施した。
タクシー車両へのE V等の導入	×	検討したものの導入されなかった。
電気自動車等のカーシェアリングの実施	○	タイムズモビリティネットワークス(株)のご協力により、「コムス」のレンタル事業を開始した。
電気自動車等を活用している状況を多くの方に見て頂く取組	○	導入したE Vを普段から活用するとともに、イベントでの展示を毎年多数行った。
災害時に電気自動車等を共有する仕組みづくり	△	継続して検討をすすめている。
地域における災害時の電気自動車等の活用検討	○	まちづくり協議会が実施する防災訓練で電気自動車の電源を活用する取組を毎年複数回実施した。
観光施設、商業施設等における充電施設の整備	○	観光施設や商業施設、旅館等に充電器の普及が進み、充電器マップを作成した。
社用車への電気自動車の導入	○	郵便局や複数の商工会議所会員企業にE Vが導入された。
充電施設設置のための指針作成	○	指針を作成し、充電器の設置を促進した。
シンボルマークの作成	○	公募によりシンボルマークを作成し、E Vにステッカーを貼り、協議会活動を広報した。
充電施設ピクトグラム作成	○	公募によりデザインを作成し、市内すべての充電施設に掲示した。
連携した公共交通機関利用促進の取組	○	三重交通(株)にて電気バスが導入され電気バスの利用促進を実施した。E Vを活用した観光企画として、公共交通機関の利用を促進した。
あらゆる利用者の充電使用料の支払いを可能とする仕組みづくり	○	伊勢市役所にはコイン式の課金装置を導入した。その後、自動車4社による共通したカード課金の仕組みが普及した。

(2) 中長期的（10年間）に取り組む内容のうち、電気バスが導入され、ハイブリッドバスも導入される予定となった。また、電気バスは、協議会の取組をアピールするコンテンツとして定着した。

(3) アンケート調査から、電気自動車の取組について市民に認知され、前向きに評価されている。

■ 2 5つの取組による成果

(1) 具体的観光プラン

【平成25年度】

- ・E V等を活用した観光モデルルートを作成

【平成26年度】

- ・小型E Vで周るモニターツアー実施（6回）
- ・E Vや電気バスで周るお伊勢さん周遊マップを作成（4000部）

- ・EVや電気バスで周るエコスタンプラリーの実施（アンケート回答 369 名）
- ・ピカチュウ電気バス 1 周年記念イベントの実施

【平成 27 年度】

- ・小型EVで周るモニターツアー実施
- ・EVや電気バスで周るエコスタンプラリーの実施（アンケート回答 266 名）

（2）ショーケース化の実施（EVの普及）

【平成 25 年度】

- ・明野高校と連携したEVを活用したイベントの実施
- ・みえ環境フェアや伊勢市環境フェア、伊勢楽市等でのEV等の展示
- ・一人乗りEV「コムス」4 台の導入
- ・二人乗りEV「超小型モビリティNTN」5 台の導入
- ・伊勢市民マラソン等でのEVの伴走
- ・ピカチュウ電気バスの導入
- ・伊勢市公用車へのEV 2 台の導入
- ・商店街での小型EVカーシェアリングの試行実施

【平成 26 年度】

- ・みえ環境フェアや伊勢楽市等イベントでのEV展示・試乗
- ・雑誌や広報紙等を活用したパブリシティの実施
- ・商店街と連携したEVの活用取組
- ・社用車等への導入（山村乳業 2 台、日本郵便伊勢局 2 台、伊勢市役所 2 台、なかむら建設 1 台）
- ・超小型モビリティ実証事業の実施（伊勢市、商工会議所、観光協会、ヤマト運輸等で実施）

【平成 27 年度】

- ・皇学館大学と連携したEV等の活用
- ・みえ環境フェアや伊勢市環境フェア、伊勢楽市等でのEV等の展示
- ・伊勢市環境フェアでピカチュウ電気バス試乗会・ピカチュウとの写真撮影会実施
- ・FMみえと連携した協議会取組の継続的な情報発信（環境省補助事業・毎週放送）
- ・ニュースレターの発行
- ・新築時に 200V コンセントの設置を進めるチラシの作成・配布
- ・社用車等への導入（第三銀行コムス 3 台）
- ・コムスレンタルの試行実施（タイムズカーレンタル伊勢店）

（3）災害時の車両活用

【平成 25 年度】

- ・地域の防災訓練で電源としての活用を試行

【平成 26 年度】

- ・地域の防災訓練で電源として活用（4 回実施）
- ・電気バスの電源活用を検討

【平成 27 年度】

- ・地域の防災訓練で電源として活用（2 回実施）

（4）充電施設等の設置・運用指針の作成（充電器の普及）

【平成 25 年度】

- ・充電器設置のためのガイドブックを作成（ガイドブック、概要版、資料編）
- ・充電器補助制度説明会の開催

【平成 26 年度】

- ・充電器設置ガイドを活用して観光施設や宿泊施設への設置促進
- ・充電器マップの作成・配布
- ・市内の充電施設に協議会で作成したピクトグラムを掲示

【平成 27 年度】

- ・充電器マップの情報更新

(5) シンボルマーク、ピクトグラムの作成

【平成 25 年度】

- ・公募によりシンボルマーク、ピクトグラムを作成（応募数 300 余）
- ・伊勢市環境フェアでデザイン発表
- ・ステッカーを作成し、EVや充電施設に表紙して協議会取組等を普及

【平成 26 年度】

- ・電気バスへのシンボルマーク掲示
- ・市内すべての充電施設にピクトグラムを掲示

【平成 27 年度】

- ・シンボルマークの一部のデザインをスタンプとして集めるエコスタンプラリーを実施

(6) その他

- ・民間企業や地元団体等で連携する関係を構築した
- ・EV等に関する団体とネットワークを構築した
- ・同様の取組を実施したいとする市町が出現した

■ 3 残された課題（10か年の目標に向けて）

- ・市民や事業者へのEVの普及（保有率のアップ）
- ・EV観光の定着化
- ・継続的な情報発信
- ・さらなる充電施設の普及
- ・他の地球温暖化防止策の促進

■ 4 今後の取組方向

- 伊勢市における市民や事業者へのEVの普及や、EV観光の定着化については、電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会により今後も継続して取組を進めていくよう検討する。
- 協議会の取組については、伊勢志摩サミット、伊勢志摩国立公園 70 周年イベント、全国菓子大博覧会・三重などを活用した継続的な取組実施や情報発信について検討を進める。
- EVは全国的にもまだまだ普及しない中、県内への普及に県として継続的に取り組んで行く。
- 県では、モデル事業での経験を活かし、構築した関係団体とのネットワークを活用して、様々な団体と連携した地球温暖化対策の取組を他の地域に展開していく。